

博士論文審査手当及び入試手当支給基準

平成17年	1月27日	学長裁定
平成17年11月	15日	一部改正
平成18年	1月6日	一部改正
平成18年	6月5日	一部改正
平成19年	9月27日	一部改正
平成21年	4月1日	一部改正
平成24年12月	11日	一部改正
平成28年	3月1日	一部改正
平成29年	3月29日	一部改正
平成30年	3月22日	一部改正
平成30年	8月29日	一部改正
平成30年10月	10日	一部改正
令和元年	11月29日	一部改正
令和3年	2月25日	一部改正
令和3年	11月22日	一部改正
令和4年	3月22日	一部改正

国立大学法人岡山大学職員給与規則第18条の14（博士論文審査手当）第2項及び第18条の15（入試手当）第2項に定める博士論文審査手当及び入試手当は、この基準により支給する。

- 1 博士論文審査手当の額は、1件につき、審査委員数により、次の各号に掲げる額とする。
 - 一 審査委員3名の場合 主査12,000円、主査以外8,000円
 - 二 審査委員4名の場合 主査9,000円、主査以外6,000円
 - 三 審査委員5名の場合 主査7,500円、主査以外5,000円
 - 四 審査委員6名の場合 主査6,500円、主査以外4,500円
 - 五 審査委員7名の場合 主査6,000円、主査以外4,000円
 - 六 審査委員8名以上の場合 別に定める。

- 2 入試手当（附属学校の入学者選抜試験に係るものを除く。）の額は、次の各号に掲げる業務の区分に応じ、当該各号に定める額とする。ただし、個別学力試験の欠員補充第2次募集に係るものについては、半額とする。
 - 一 個別学力試験（次号に掲げるものを除く。）の筆記試験の問題作成委員の業務
1件当たり 40,000円（委員長は、60,000円）
 - 二 個別学力試験の体育実技、音楽実技、美術実技、小論文及びペーパーインタビュー

の問題作成委員の業務

1 件当たり 10,000円（委員長は、15,000円）

三 個別学力試験問題と高等学校学習指導要領との点検業務

1 件当たり 10,000円

四 個別学力試験の採点委員、口述試験委員及び面接委員の業務

1 日当たり 5,000円（関係業務従事時間が4時間未満の場合は、1,500円）

五 特別入試（総合型選抜、国際バカロレア選抜、学校推薦型選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜、国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラムに採用された国費外国人留学生選抜）及び入学定員を有する編入学試験並びに特別支援教育特別専攻科の入学者選抜試験の問題作成、採点（書類審査を含む）、口述試験及び面接試験の業務選抜種別を単位として1回3,000円（関係業務従事時間が4時間未満の場合は、1,500円）

六 大学院及び養護教諭特別別科の入学者選抜試験の業務

選抜種別を単位として問題作成及び採点（書類審査を含む）の業務にあつては1回8,000円、口述試験及び面接試験の業務にあつては1回3,000円、ただし、同一の選抜種別を単位として双方の業務を行った場合にあつては、口述試験及び面接試験の業務に係る手当は支給しない。

3 附属学校の入学者選抜試験に係る入試手当の額は、次の各号に掲げる業務の区分に応じ、当該各号に定める額とする。

一 筆記試験の問題作成委員の業務 1 件当たり

附属小学校 15,000円（委員長は、23,000円）

附属中学校 20,000円（委員長は、30,000円）

二 実技及び作文の問題作成委員の業務 1 件当たり

附属小学校 4,000円（委員長は、6,000円）

附属中学校 5,000円（委員長は、8,000円）

三 採点又は面接の業務 1 日当たり

附属小学校 3,000円（関係業務従事時間が4時間未満の場合は、1,500円）

附属中学校 3,000円（関係業務従事時間が4時間未満の場合は、1,500円）

四 附属小学校の入学者選抜試験の問題と幼稚園教育要領との点検業務

1 件当たり 4,000円

五 附属中学校の入学者選抜試験の筆記試験問題と小学校学習指導要領との点検業務

1 件当たり 5,000円

六 附属幼稚園及び附属特別支援学校の入学者選抜業務

観察、面接、検査及び試験のうち2以上の業務を行った場合 15,000円

4 この基準は、令和4年3月22日から施行し、令和3年4月1日から適用する。